



動と静、
縦と横、
二つの側面を
兄弟で分かち合う。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

ここに入るたびに、阿蘇の季節を感じる。
と、観光客の多くが評価する果樹園がある。
その名もカップルズ。

「ともかく父の決断のすごさに打たれる。それがすべてです」

二人三脚で「果実の国」の活動を意欲的に推進している

中山勝博さん(兄・写真前)・晴喜さん(弟・写真後)兄弟はそう明言する。

およそ三十年前、米と畜産の農家だった父は、

あるとき長野県のリンゴ農家の人が書いた二冊の本に出会い、感銘する。

感銘だけで終わらず、過去の実績をすべて投げ打って

リンゴづくりに踏み切った。

兄弟の共通のルーツは、父のその大英断にはかならない。

自由人で発想豊かな兄と、誠実な人柄で腹のすわった弟。

動と静、花と根、縦と横、

どちらも欠かせぬ二つの側面を兄弟で分かち合う。

ふたりが作るイチゴに、ふしぎな安定感があるのはそのせいだろう。

果実の国カップルズ 中山勝博・晴喜

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。